

# 中学校数学科

## 2年生

### 5 図形の性質と証明

[ 指導に当たって(教師用) ]

証明の学習においては、与えられた性質の証明をするだけでなく、その結果や過程を振り返り、新たな性質を見いだすことが大切である。そのためには、証明を書くことだけでなく、証明を読むことが必要である。そうすることで、数や図形の性質などを見いだし発展的に考える活動に意欲的に取り組むことにつながる。

指導に当たっては、証明の過程で現れた事実や得られた結論に着目し、新たな性質を見付けることができないかを考える機会を設けることが大切である。

例えば、次のように、三角形の合同を用いる証明をした後に、その過程を振り返り、図形についての新たな性質を見いだす場を設定することが考えられる。